

岩高工業科（機械科 昭和36年4月 電気科 昭和38年4月） が設置され 本年50周年

昭和36年4月に全日本制機械科が設置され、今年で五十年を迎えます。昭和三十八年には全日本制電気科も加えて工業界の基幹となる科がそろいました。これまで、設備の更新をしながら昭和六十二年には二クラスあつた機械科の二クラスを電子機械科に学科変換して社会のニーズにも対応してきました。電子機械科では、機械の内容を積極的



機械科 五十周年を記念して

機械・電子機械科 井出 真佐雄

昭和36年4月に全日本制機械科が設置され、今年で五十年を迎えます。昭和三十八年には全日本制電気科も加えて工業界の基幹となる科がそろいました。これまで、設備の更新をしながら昭和六十二年には二クラスを電子機械科に学科変換して社会のニーズにも対応してきました。電子機械科では、機械の内容を積極的

4月に本校の校長（第22代）に就任しました吉岡道明と申します。出身は地元佐久市。前任は蓼科高校で、校長職経験は3年であります。

学校長 吉岡道明

私が本校に赴任してます

感じましたのは、生徒諸君

の挨拶の良さときびきびと

した立ち居振る舞いであり

ます。そして支部PTAの

出席率の良さにも表れて

ますが、保護者の皆様の本

校に寄せる期待の大きさと

同窓会の諸先輩方の本校を

愛する情熱の強さであります。

さて、既にご案内のとおり、本校は現在高校再編の波に洗われております。遠くない将来の本校の有り様を具体的に見定め、何より

現在考へているところを若

干申し述べたいと思います。

まずは、生徒のために何

をすべきか、職員全員が

自らの頭で考え、判断し、

行動する学校づくりを目指

まさに初代校長、長洲佐藤寅太郎先生の「質実剛健、

上下和順、盛徳有道の志と

して、社会に信頼されるに

足る人物たれ」との教えが、

校内はもちろん社会の中

においても脈々と受け継が

れていることを実感致しま

した。

さて、既にご案内のとおり、本校は現在高校再編の波に洗われております。遠くない将来の本校の有り様を具体的に見定め、何より

現在考へているところを若

干申し述べたいと思います。

まずは、生徒のために何

をすべきか、職員全員が

自らの頭で考え、判断し、

行動する学校づくりを目指

も生徒の為になる高校再編

計画を推し進めていかなく

てはと心を引き締めており

ます。校内には既に新校

準備委員会が組織され、

着々と議論が積み重ねられ

ているところであります。

私がこのことについて、着

任後2ヶ月ではありますが、

現在考へているところを若

干申し述べたいと思ひます。

次に、新しい岩村田高校誕生のための基礎作りを行

うということです。

具体的には、①地域、保護者

の要望を吸い上げ、新岩

村田高校と新総合技術高校

の具体像を明確にしていく。

②岩村田高校が位置する地の利とこの地域の将来

性を念頭に置き、佐久の普

通科高校の中心校となるべく柔軟な発想と幅広い視野を持ったその戦略を立てる。

③ものづくりコンテストや

RBOCON等に積極的

に参加し、「チャレンジす

る工業科」としての充実を

図り、新総合技術高校の核

となる下地を作り上げる。

④「もつともっと元気に、

生徒と伸ばせないか、こう

したらもっと良くなるので

はないかといった工夫を、

生徒と職員がそれぞれ自分

の頭で考え、判断し、一緒に

になってそれを一歩ずつ行

動に移していくかないと考

えています。

生徒の為になる高校再編

計画を推し進めていかなく

てはと心を引き締めており

ます。校内には既に新校

準備委員会が組織され、

着々と議論が積み重ねられ

ているところであります。

私がこのことについて、着

任後2ヶ月ではありますが、

現在考へているところを若

干申し述べたいと思ひます。

次に、新しい岩村田高校誕生のための基礎作りを行

うということです。

具体的には、①地域、保護者

の要望を吸い上げ、新岩

村田高校と新総合技術高校

の具体像を明確にしていく。

②岩村田高校が位置する地の利とこの地域の将来

性を念頭に置き、佐久の普

通科高校の中心校となるべく柔軟な発想と幅広い視野を持ったその戦略を立てる。

③ものづくりコンテストや

RBOCON等に積極的

に参加し、「チャレンジす

る工業科」としての充実を

図り、新総合技術高校の核

となる下地を作り上げる。

④「もつともっと元気に、

生徒と伸ばせないか、こう

したらもっと良くなるので

はないかといった工夫を、

生徒と職員がそれぞれ自分

の頭で考え、判断し、一緒に

になってそれを一歩ずつ行

動に移していくかないと考

えています。

生徒の為になる高校再編

計画を推し進めていかなく

てはと心を引き締めており

ます。校内には既に新校

準備委員会が組織され、

着々と議論が積み重ねられ

ているところであります。

私がこのことについて、着

任後2ヶ月ではありますが、

現在考へているところを若

干申し述べたいと思ひます。

次に、新しい岩村田高校誕生のための基礎作りを行

うということです。

具体的には、①地域、保護者

の要望を吸い上げ、新岩

村田高校と新総合技術高校

の具体像を明確にしていく。

②岩村田高校が位置する地の利とこの地域の将来

性を念頭に置き、佐久の普

通科高校の中心校となるべく柔軟な発想と幅広い視野を持ったその戦略を立てる。

③ものづくりコンテストや

RBOCON等に積極的

に参加し、「チャレンジす

る工業科」としての充実を

図り、新総合技術高校の核

となる下地を作り上げる。

④「もつともっと元気に、

生徒と伸ばせないか、こう

したらもっと良くなるので

はないかといった工夫を、

生徒と職員がそれぞれ自分

の頭で考え、判断し、一緒に

になってそれを一歩ずつ行

動に移していくかないと考

えています。

生徒の為になる高校再編

計画を推し進めていかなく

てはと心を引き締めており

ます。校内には既に新校

準備委員会が組織され、

着々と議論が積み重ねられ

ているところであります。

私がこのことについて、着

任後2ヶ月ではありますが、

現在考へているところを若

干申し述べたいと思ひます。

次に、新しい岩村田高校誕生のための基礎作りを行

うということです。

具体的には、①地域、保護者

の要望を吸い上げ、新岩

村田高校と新総合技術高校

の具体像を明確にしていく。

②岩村田高校が位置する地の利とこの地域の将来

性を念頭に置き、佐久の普

通科高校の中心校となるべく柔軟な発想と幅広い視野を持ったその戦略を立てる。

③ものづくりコンテストや

RBOCON等に積極的

に参加し、「チャレンジす

る工業科」としての充実を

図り、新総合技術高校の核

今年度の岩高祭は光彩陸離く一つに交わり大きなヒカリへ」というテーマのもとで進んでいくといふこと。今まで以上に全校生徒が文化祭に関わるものにしていきたいと思つています。例えば、今までになかつた、全校でのモザイクアートの制作などです。ま

岩高祭実行委員長 町田 武尊

岩高祭の意気込み

第47回 岩高祭

岩高祭実行委員長 町田 武尊

た、岩高の特徴の工業科と普通科があるということを生かし、ふたつの科をもつと交わらせるといふことを進めています。

最後に一年生、二年生、三年生、さらに普通科、工業科という輝きへ……

一生に一度しかない夏が来ます。今こそ心を一つにし、岩高という大きなヒ力を輝かせましょう!!

△授業を終え手を洗いながら、顔を上げる。桜の咲き具合を見るための日課である。車椅子と介添えの人たちが正門からそろそろと入って来る。桜の古木の前で花を見上げている。思わず降りて行って話をしてみたくなつた。

△浅間病院の車椅子のお年寄り5名と看護師さん6名の一団。毎年岩高的桜を楽しみにしているとのこと。

私が岩高生だった頃、南の道路沿いに連なつていたソメイヨシノは現在では5本を残すのみとなつた。「花とだに言えれば桜」さらに入れる「夏の庭」。

△冬でも一日中陽のある庭、できるだけ設置物を排し岩高祭模擬店のスペース

△冬でも一日中陽のある庭、できるだけ設置物を排し岩高祭模擬店のスペース

△春には紅白の花を付けてくれるシダレモモ、卒業記

（柳澤眞）

平成21年度岩村田高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 4,721,703円 支出総額 4,436,518円 差引残額 285,185円

自 平成21年4月1日～至 平成22年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 柳澤 仁

【収入】				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越入会金	137,899	137,899	0	H20年度よりの繰越金
役員会・総会預金利子	4,232,250	4,232,250	0	14,850円×285名分
雜収入	220,000	255,000	35,000	出席者会費
計	3,000	554	△ 2,446	普通預金利息
	20,000	96,000	76,000	ご寄付、名簿売上(07年度発行、1冊4,000円)
	4,613,149	4,721,703	108,554	

【支出】				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	600,000	672,223	△ 72,223	第39回同窓生作品展、卒業生用証書ホルダー他
役員会費	450,000	440,934	9,066	役員会等補助
総会費	200,000	170,081	29,919	講師謝礼、総会会場費補助他
支部補助費	100,000	100,000	0	東都岩高会
印刷費	500,000	462,315	37,685	会報印刷等(平成22年度より広報費として計上予定)
旅費	80,000	35,110	44,890	東都岩高会出張
通信費	1,600,000	1,531,831	68,169	会報発送、役員会等通知印刷他
事務費	60,000	29,747	30,253	事務用品・印刷インク代等
慶弔費	120,000	150,457	△ 30,457	香典、弔電、生花。祝儀、他
積立金	600,000	600,000	0	積立金会計へ
雜費	10,000	840	9,160	会報発送代振込手数料
涉外費	130,000	138,000	△ 8,000	餞別
クラブ振興費	100,000	100,000	0	クラブ活動後援会へ
予備費	63,149	4,980	58,169	中庭整備用具
計	4,613,149	4,436,518	176,631	

私の中で、私達の代は、岩村田高校の生徒が「笑顔」で溢れる学校にしたいと思っています。「笑顔」で溢れる学校にすることにより、マンネリ化している学校が楽しくなると考えたからです。

そのため、岩高のよい伝統を残しつつ、新しい伝統を作り上げたいと思っています、現在、特に力を入れていることは、社会への貢献を目指し、エコ活動とボランティア活動です。工

作などをして、生徒一人ひとりの意見を直接聞く目安箱の活用方法を変えました。目安箱の設置箇所を増やし、放送での活用の呼びかけをし、多くの生徒の意見を取り入れ尊重できるようになります。様々なことに挑戦していくように努力していきたいと思います。

課題研究の内容ですが、

課題研究が始まつて十五年ほど経過しました。生徒が自ら課題を設定し、ものづくりや研究をしています。本校の課題研究も当初は、それぞれの科で単独で授業をしていました。発表会は合同でやつていたようです。平成十四年より佐久市勤労者福祉センターで発表会を実施しています。その後、三科合同で授業を行い、機械電子機械電気の特徴を生かして生徒はいつよにグループを作り授業をしています。三年生になっても違う科の生徒とは初対面の異なる場合もあり、一つの目標に向かつて、まずは、お互いのコミュニケーションをとることからはじまり

ます。相手に自分の考えを伝えたり、話を聞くなど議論をします。物をつくるだけでなく人間関係をつくることも課題研究の大きな目的の一つになっています。

平成二十一年度は、北佐久農業高校ともお互いの発表会に参加するなど交流が始まりました。工業以外の発表会を開く機会はなかなかないので、生徒にも良い刺激になります。在校生はもちろん保護者、同窓会の皆さん更に就職先の企業の方々も見にきて頂きとても好評を頂いています。

△授業を終え手を洗いながら、顔を上げる。桜の咲き具合を見るための日課である。車椅子と介添えの人たちが正門からそろそろと入って来る。桜の古木の前で花を見上げている。思わず降りて行って話をしてみたくなつた。

△同窓会は2008年度に90周年事業の前倒し事業の一環として環境整備に着手しました。工業科教室の南、本館と被服教室の間、美術教室と音楽教室の間の3箇所を整備した。冬の庭、夏の庭、春秋の庭と仮に名付けよう。

△冬でも一日中陽のある庭、できるだけ設置物を排し岩高祭模擬店のスペース

△春には紅白の花を付けてくれるシダレモモ、卒業記

（柳澤眞）

【収入】				
項目	予算額	前年度予算額	前年度対比	摘要
前年度繰越入会金	285,185	137,899	147,286	H21年度よりの繰越金
役員会・総会同窓会活動協力金	2,850,000	4,232,250	△ 1,382,250	10,000円×285名分
預金利子	250,000	220,000	30,000	出席者会費
雜収入	880,000	0	880,000	1,000円×1000口として、振込手数料を引いた額(仮定)
計	1,000	3,000	△ 2,000	普通預金利息
	20,000	20,000	0	名簿売上他
	4,286,185	4,679,031	△ 326,964	

【支出】				
項目	予算額	前年度予算額	前年度対比	摘要
事業費	650,000	600,000	50,000	第40回同窓生作品展、他会報印刷代、発送代他
広報費	2,200,000	0	2,200,000	講師謝礼他
総会費	180,000	200,000	△ 20,000	役員会補助
役員会費	400,000	450,000	△ 50,000	東都岩高会
支部補助費	100,000	100,000	0	支部へ出張等
旅費	40,000	80,000	△ 40,000	諸通知葉書代、電報、切手代
通信費	45,000	1,600,000	△ 1,555,000	事務用品購入代
事務費	30,000	60,000	△ 30,000	香典、弔電、生花、祝儀他
慶弔費	150,000	120,000	30,000	寸志、饅頭他
積立金	100,000	600,000	△ 500,000	積立会計へ
クラブ振興費	100,000	100,000	0	クラブ活動後援会へ
教育研修費	5,000	10,000	△ 5,000	教育研修補助金
雑費	0	50,000	△ 50,000	事務手数料
印刷費	0	50,000	△ 50,000	(会報印刷代→「広報費」諸通知葉書代→「事務費」) 岩高会館維持費等
予備費	36,185	63,149	△ 26,964	
計	4,286,185	4,613,149	△ 326,964	

※尚、予算に過不足が生じた場合、正副会長協議の上、一任させていただきます。



生徒会長
込山 翔

課題研究の様子

年によって変化する課題と継続して取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、発表会は平成22年1月22日(土)です。是非、佐久市勤労者福祉センターに見に来て頂ければと思います。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

で残つて取り組んでいます。発表会の日時は決まっており、それに間に合うようになります。

年度別合格状況												平成22年4月8日現在																												
入試年	22年			21年			20年			入試年	22年			21年			20年			入試年	22年			21年			20年													
	普	工	既卒	普	工	既卒	普	工	既卒		普	工	既卒	普	工	既卒	普	工	既卒		普	工	既卒	普	工	既卒	普	工	既卒											
国公立大学	22	2	7	20	1	6	14	2	6	文京学院大	3		1			4				東洋大	2	1	2	5	3	1	6	1	2											
私立大学	164	39	36	145	41	46	142	37	48	明海大			2						二松学舎大							1														
国公立短大	2	2	0	10	0	0	11	0	0	目白大	2	1	2	1	1			日本大	5	4	6	13	2	6	7	1	5													
私立短大	9	3	0	18	2	0	9	1	0	十文字学園女大	1							日本社会事業大	1			1																		
国立高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	1	0	西武理大			1					日本体育大			1																			
所管外大学校	0	10	0	0	12	0	2	8	0	ものづくり大			1		1			ルートル学院大	1																					
専修学校	33	27	0	23	39	0	34	29	0	日本医療科学大			1					法政大	2	1	5	3	3	1		1														
国公立大学													東都医療大	1				武蔵大																						
入試年	22年			21年			20年			江戸川大			1					東京都市大	1	1																				
	普	工	既卒	普	工	既卒	普	工	既卒	神田外語大	1		1				武蔵野音大			1																				
岩手大										国際武道大			2				武蔵野大			2																				
山形大			1							淑徳大				1			明星大	4		1																				
茨城大				1						聖徳大	2			1			立教大			1																				
群馬大	1									千葉工大	5	2	6	4	5		立正大	2		1	3	2	1																	
北見工大				1						帝京平成大	1	1			1	2	1	和光大	1																					
宇都宮大				1						東京情報大			1				早稲田大			2		1																		
埼玉大		1	2			1				東京成徳大				1			白梅学園大				1																			
横浜国立大						1				和洋女子大				1			麻布大			1		1																		
上越教育大	1			1		1				了徳寺大				1			神奈川大	15	2	2	3	1	4	2																
新潟大						1				青山学院大			1		2	1	神奈川工科大	1	1	1	1	1	5																	
富山大			2			1				亞細亞大	1		2				鎌倉女子大	3		1		1																		
山梨大	1	2	3		3					桜美林大	2		2		1		関東学院大	1		1																				
信州大	7	2	1	1	1	2	5	2	1	大妻女子大			2				相模女子大																							
滋賀医科大				1						學習院大			1				産業能率大				1																			
はこだて未来大										北里大				1			昭和音大			1																				
青森公立大	1									共立女子大				1			東京工芸大	3			1																			
前橋工科大				1						杏林大	2			1	3		新潟薬大	1			2																			
群馬県立県民健康科学大				1						国立音大				1			新潟医療福祉大	1		1	1	1	1																	
群馬県立女子大				1						工学院大	1	1		1		1	金沢工大	1	1		4		1	3																
高崎経大	4		3			1				国学院大	3			1	1		帝京科学大	1	1	3		3																		
埼玉県立大				1						國土館大	1	1		1		1	山梨学院大	1			1																			
首都大東京	1									駒澤大	4	1	11		1		健康科学大	1			1																			
山梨県立大	1									実践女子大	2		3		1		京都学園大				1																			
都留文化大	2			2						芝浦工大			4				京都橘大学				2																			
長野県看護大	3									上智大				1			同志社大	1			1																			
私立大学													東京経大	5			3		同志社女子大	1			1																	
入試年	22年			21年			20年				22年			21年			20年				22年			21年</td																